

東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学 第7回学術フォーラム

Forum for Interface Oral Health Science

顎骨の再生医療

木下 勲彦 教授

神奈川歯科大学高次口腔科学研究所
再生医学研究部門

平成17年1月20日(木) 17:30 ~
歯学部A1セミナー室(歯学部基礎棟1階)

自己修復を望めない大きな顎骨欠損に対しては、通常、骨移植または人工材料による再建が行われるが、それぞれ一長一短があり、機能回復も十分とは言えないのが現状である。顎骨再建の最終ゴールは義歯装用やインプラントができる骨を再生することである。近年のtissue engineering (再生医工学) の発展はこれをより身近なものにしている。本講演では、これまで演者らが開発し、臨床応用を進めてきた骨髄組織と生体吸収性足場を用いた下顎骨の再生法を紹介し、今後の顎骨の再生医療を展望したい。

連絡先: 研究推進企画室長・第7回モデレーター

篠田 壽 (内線 8310)

副研究科長

高橋 信博 (内線 8294)